

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2007-257364  
(P2007-257364A)

(43) 公開日 平成19年10月4日(2007.10.4)

(51) Int. Cl.

G06Q 10/00 (2006.01)

F I

G06F 17/60 174

テーマコード(参考)

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2006-81625 (P2006-81625)  
(22) 出願日 平成18年3月23日(2006.3.23)

(71) 出願人 500046438  
マイクロソフト コーポレーション  
アメリカ合衆国 ワシントン州 9805  
2-6399 レッドモンド ワン マイ  
クロソフト ウェイ  
(74) 代理人 100077481  
弁理士 谷 義一  
(74) 代理人 100088915  
弁理士 阿部 和夫  
(72) 発明者 橋本 肇  
東京都調布市調布ヶ丘1-18-1 マイ  
クロソフト株式会社 マイクロソフト調布  
技術センター内

最終頁に続く

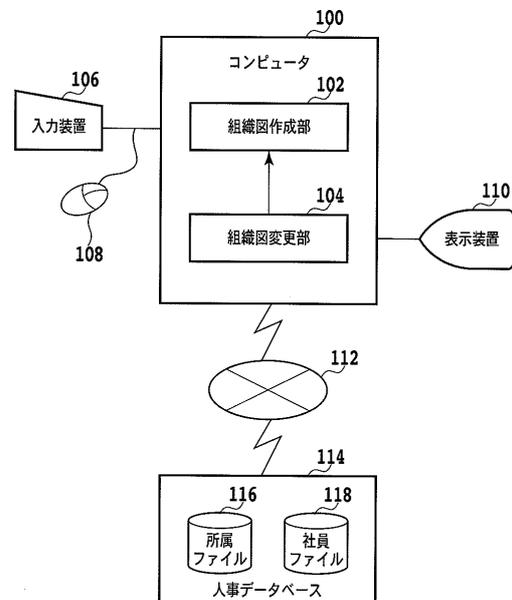
(54) 【発明の名称】 電子組織図処理システム、電子組織図処理方法及びプログラム

(57) 【要約】

【課題】組織図を階層構造で表示する場合、社内における序列にしたがって部署、グループ、メンバー等を適切な位置に配置する。

【解決手段】階層構造の電子組織図を作成し、表示装置の画面上の第1の領域に表示させる電子組織図作成手段(102)と、第1の領域に表示された電子組織図の構成要素の表示順を表示装置の画面上の第2の領域で変更する電子組織図変更手段(104)とを備える。

【選択図】図1



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

階層構造の電子組織図を作成し、表示装置の画面上の第 1 の領域に表示させる電子組織図作成手段と、

前記第 1 の領域に表示された前記電子組織図の構成要素の表示順を表示装置の画面上の第 2 の領域で変更する電子組織図変更手段と

を備えることを特徴とする電子組織図処理システム。

**【請求項 2】**

前記電子組織図変更手段は、前記画面上に表示された上方移動ボタン又は下方移動ボタンを介したユーザからの指示にしたがって前記電子組織図の構成要素の表示順を変更することを特徴とする請求項 1 記載の電子組織図処理システム。

10

**【請求項 3】**

前記電子組織図変更手段は、前記電子組織図の構成要素の表示順を、当該構成要素の序列にしたがって変更することを特徴とする請求項 1 記載の電子組織図処理システム。

**【請求項 4】**

階層構造の電子組織図を作成し、表示装置の画面上の第 1 の領域に表示させる表示ステップと、

前記第 1 の領域に表示された前記電子組織図の構成要素の表示順を表示装置の画面上の第 2 の領域で変更する変更ステップと

を含むことを特徴とする電子組織図処理方法。

20

**【請求項 5】**

前記変更ステップは、前記画面上に表示された上方移動ボタン又は下方移動ボタンを介したユーザからの指示にしたがって前記電子組織図の構成要素の表示順を変更することを特徴とする請求項 4 記載の電子組織図処理方法。

**【請求項 6】**

前記変更ステップは、前記電子組織図の構成要素の表示順を、当該構成要素の序列にしたがって変更することを特徴とする請求項 4 記載の電子組織図処理方法。

**【請求項 7】**

コンピュータに、

階層構造の電子組織図を作成し、表示装置の画面上の第 1 の領域に表示させる表示ステップと、

30

前記第 1 の領域に表示された前記電子組織図の構成要素の表示順を表示装置の画面上の第 2 の領域で変更する変更ステップと

を実行させるためのプログラム。

**【請求項 8】**

前記変更ステップは、前記画面上に表示された上方移動ボタン又は下方移動ボタンを介したユーザからの指示にしたがって前記電子組織図の構成要素の表示順を変更することを特徴とする請求項 7 記載のプログラム。

**【請求項 9】**

前記変更ステップは、前記電子組織図の構成要素の表示順を、当該構成要素の序列にしたがって変更することを特徴とする請求項 7 記載のプログラム。

40

**【発明の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本発明は、会社組織を構成する部署、グループ、社員（メンバー）の関係を階層構造（ツリー構造）で表す電子組織図を作成する電子組織図処理システム等に関する。

**【背景技術】****【0002】**

会社等の組織においては、組織の全体構成を一目で把握できるようにするため、会社内の各部署名、各部署に所属する各社員の氏名からなる組織図を階層構造で表すことが行わ

50

れている。また、会社等においては、組織改正や人事異動にともなう組織変更が定期的または不定期に行われるため、その組織変更にあわせて管理者は組織図を随時アップデートする。

#### 【0003】

一方、グループ作業を効率よく運営するため、グループウェアといったソフトウェアを利用してこの組織図の作成・管理を行う会社が増えつつある。組織図は、電子ファイルの形式でデータベース上に管理され、管理者によって組織図の追加、変更等のアップデートが行われる。本明細書では、この組織図を電子組織図と称する。

#### 【0004】

グループウェアとは、会社や部署におけるグループ作業を効率化するために、メンバー間のコミュニケーションや情報共有を効率化するためのソフトウェアである。グループウェアは、ネットワークを介したグループ間で作業が行われることが前提とし、グループウェアをインストールしたコンピュータ同士は電子メールの送受信を行う以外に、文書共有、スケジュール管理、ワークフローの管理などもできる。文書共有では、アイデアやノウハウなどの情報を文書やファイルの形式でデータベースに収容し、それを複数ユーザが参照し又は編集可能とする。グループウェアは、電子掲示板としても使える。スケジュール管理では、複数のユーザが互いのスケジュール情報を共有できる。各人のスケジュールは、グループカレンダーで表示され、管理される。さらに、グループウェアを用いると、参加者の都合を調べてミーティングの設定、会議開催通知の送付、出欠の確認等も容易にできる。

10

20

#### 【発明の開示】

#### 【発明が解決しようとする課題】

#### 【0005】

上述した通り、会社等の組織においては、会社内の部署名、グループ名、社員の氏名からなる組織図は階層構造で表されている。そして、会社によっては、グループウェア等のソフトウェアを導入することによって、電子ファイル形式の組織図を社内のデータベースを用いて管理している。利用者は、グループウェアソフトウェアを用いることによって、端末の画面を介して会社の組織図を閲覧し、あるいは、必要に応じて、その組織図を他の業務目的に利用することもある。

#### 【0006】

階層構造で表示される電子組織図において、部署、社員等の表示順（上下の配置順）がランダムであることは、社内での序列、年功を重んじる一般的な会社においては望ましくない。

30

#### 【0007】

例えば、東京営業所と北海道営業所を階層構造で表示する場合に、営業の中核機能を備え営業所の組織規模が最も大きい東京営業所が、それよりも組織規模が小さい北海道営業所よりも下位の位置に表示されること、あるいは、マネージャー等の管理職が一般社員よりも下位の位置に表示されること等に対して、不快感を表しクレームをとなえる者もいるかもしれない。また、他の例として、この階層構造からなる組織図のデータを利用してグループメンバーの会議をグループカレンダー（ソフトウェア）上に設定をすることもあるが、グループカレンダーに表示されるミーティングの参加者の表示順がメンバーの序列にしたがっていないと一部のメンバーの気分を害することもあり得る。

40

#### 【0008】

したがって、上述したような社員の間で無用なあつれきが生ずるのを避けるため、階層構造で表示される組織図を作成する際には、部署やメンバーの表示順が社内における序列を反映しているものを作成することが必要と考えられる。

#### 【0009】

そこで、本発明の目的は、組織図を階層構造で表示する場合に、社内における序列に基づいて、部署や社員の表示順を設定可能とする電子組織図処理システムを提供することにある。

50

**【課題を解決するための手段】****【0010】**

本発明の電子組織図処理システムは、階層構造の電子組織図を作成し、表示装置の画面上の第1の領域に表示させる電子組織図作成手段と、第1の領域に表示された電子組織図の構成要素の表示順を表示装置の画面上の第2の領域で変更する電子組織図変更手段とを備えることを特徴とする。

**【0011】**

本発明の電子組織図処理システムは、電子組織図変更手段が、画面上に表示された上方移動ボタン又は下方移動ボタンを介したユーザからの指示にしたがって電子組織図の構成要素の表示順を変更することを特徴とする。

10

**【0012】**

本発明の電子組織図処理システムは、電子組織図変更手段が、電子組織図の構成要素の表示順を、当該構成要素の序列にしたがって変更することを特徴とする。

**【0013】**

本発明の電子組織図処理方法は、階層構造の電子組織図を作成し、表示装置の画面上の第1の領域に表示させる表示ステップと、第1の領域に表示された電子組織図の構成要素の表示順を表示装置の画面上の第2の領域で変更する変更ステップとを含むことを特徴とする。

**【0014】**

本発明の電子組織図処理方法は、変更ステップが、画面上に表示された上方移動ボタン又は下方移動ボタンを介したユーザからの指示にしたがって電子組織図の構成要素の表示順を変更することを特徴とする。

20

**【0015】**

本発明の電子組織図処理方法は、変更ステップが、電子組織図の構成要素の表示順を、当該構成要素の序列にしたがって変更することを特徴とする。

**【0016】**

本発明のプログラムは、コンピュータに、階層構造の電子組織図を作成し、表示装置の画面上の第1の領域に表示させる表示ステップと、第1の領域に表示された電子組織図の構成要素の表示順を表示装置の画面上の第2の領域で変更する変更ステップとを実行させることを特徴とする。

30

**【0017】**

本発明のプログラムは、変更ステップが、画面上に表示された上方移動ボタン又は下方移動ボタンを介したユーザからの指示にしたがって電子組織図の構成要素の表示順を変更することを特徴とする。

**【0018】**

本発明のプログラムは、変更ステップが、電子組織図の構成要素の表示順を、当該構成要素の序列にしたがって変更することを特徴とする。

**【発明の効果】****【0019】**

本発明によれば、組織図を階層構造で表示する場合、社内における序列にしたがって部署、グループ、メンバー等を適切な位置に配置することができる。

40

**【発明を実施するための最良の形態】****【0020】**

以下、図面を参照しながら、本発明の一実施形態を説明する。

**【0021】**

図1は、本発明の一実施形態である電子組織図処理システムの構成を示すブロック図である。

**【0022】**

コンピュータ100は、オペレーティングシステムやグループウェア等のプログラムを格納し、所定の情報処理を行う。また、コンピュータ100は、イントラネット等のネッ

50

トワークを介して社内の人事部等が管理している人事データベース114と接続している。コンピュータ100は、必要に応じて、人事データベース114にアクセスして、人事データベース114内の所属ファイル116や社員ファイル118から会社の組織情報・人事情報等を読み出す。コンピュータ100は、それらの組織情報・人事情報を用いて必要な情報処理を実行することによって、電子組織図を作成することができる。

【0023】

入力装置106は、データ入力用のキーが設けられたキーボードである。108は、マウス等のポインティング・デバイスである。コンピュータ100は、入力装置106、マウス108からデータを受信し、所定の情報処理を実行する。

【0024】

表示装置110は、CRTディスプレイ、LCD等である。表示装置110は、上述のプログラムがコンピュータ100によって実行されると、組織図作成部102や組織図変更部104を起動し、階層構造からなる電子組織図表示するウィンドウ枠(pane)や、当該階層構造内の項目の配置を変更するためのウィンドウ枠を作成し、表示装置110に表示する。

10

【0025】

組織図作成部102は、ユーザが入力装置106、ポインティング・デバイス108を操作して階層構造の電子組織図を作成するためのソフトウェアモジュールである。電子組織図の作成は、例えば、表示装置110上に表示される組織図作成用の入力画面上で行われる。電子組織図は、後述の人事データベース114から取得した会社の組織情報や人事情報に基づいて作成されてもよいし、あるいは、電子組織図の作成・管理の責任者であるシステム管理者が必要な情報を、入力装置106等を介して逐一入力することによって作成されてもよい。このようにして作成された階層構造からなる電子組織図は、表示装置110の画面上のウィンドウ枠内に表示される。

20

【0026】

組織図変更部104は、表示装置110の画面上に表示される階層構造の電子組織図を当該画面上で変更するためのソフトウェアモジュールである。組織図変更部104は、電子組織図の階層構造を変更するためのウィンドウ枠を表示装置110の画面上に表示する。ユーザは、入力装置106やポインティング・デバイス108を用いて、そのウィンドウ枠上で電子組織図に対して必要な変更処理を行う。

30

【0027】

コンピュータ100は、図示はしないが、CPU、記憶装置等のハードウェア資源を備えており、CPUが、記憶装置と協働して、組織図作成部102、組織図変更部104、入力装置106、ポインティング・デバイス108、表示装置110等を制御する。

【0028】

人事データベース114は、会社の組織情報や人事情報の電子ファイルを格納するデータベースであり、主に、所属ファイル116と社員ファイル118とを備えている。

【0029】

所属ファイル116には、各部署に関する情報が記録されており、社員ファイル118には、各社員に関する情報(所属、名前、役職等)が記録されている。

40

【0030】

図2は、組織図作成部102が作成した階層構造からなる電子組織図の一例を示す図である。図2は、特に、会社の「Sale」(営業部門)に属する部署及びメンバーの一部を階層構造で表す。

【0031】

図2を参照すると、階層構造からなる電子組織図のルート部には「Organization」(組織)が表示され、その直下の階層には「Sale」(営業)が表示されている。また、「Sale」の直下の階層には「East Japan Sale Group」(東日本営業グループ)が表示されている。また、「East Japan Sale Group」の直下の階層には「Department # 1」(第1部門)、「Se

50

ction # 1」(第1課)、「Section # 2」(第2課)といった部署又はグループが表示されている。さらに、「Department # 1」、「Section # 1」、「Section # 2」の直下の階層には、各々の部署又はグループに属するメンバーの名前、役職(グループシニアマネージャ、マネージャ等)が表示されている。本図においては、便宜上、名前の項目には、名前のローマ字表記の頭文字だけが表示されているが、フルネームで表示されるのが通例である。

【0032】

なお、部署名又はグループ名、メンバー名の左側に各種アイコンを表示することによって、表示されているものが何であるかをユーザが一目で識別できるようにしてもよい。アイコンとしては、グループアイコン、リーダーアイコン、ピープルアイコン等があり得る。グループアイコンは、部署又はグループを示し、リーダーアイコンは、管理職を示し、ピープルアイコンは、一般社員を示す。

10

【0033】

次に、組織図変更部104の処理について説明する。

【0034】

図3は、組織図内の部署名のみを階層構造等で表示した図である。

【0035】

図3の上部に示されたウィンドウ枠(parent group)の中には、「Organization」の直下の階層に「Sale」(販売部門)、「R&D」(研究開発)が配置され、「Sale」の直下の階層に「Marketing」(マーケティング)と「Support」(サポート)が配置されている組織図の階層構造が表示されている。

20

【0036】

図3の下部に示されたウィンドウ枠(display order:表示順序)の中には、階層構造で表示されるグループの表示順を変更するための画面が表示されている。

【0037】

上述のウィンドウ枠の左側の画面には、「このグループの親となるグループを選択して、グループの表示位置を指定してください。同じノード内での表示の順序を変更するには、表示順序リスト内で順序を変えたいグループを選択し上へ・下へボタンをクリックしてください。」とのメッセージが表示される。

30

【0038】

図3の上部に示されたウィンドウ枠の中の「Marketing」の項目をマウス等のポインティング・デバイスでクリックすると、図3の下部に示されたウィンドウ枠(display order)の中には、「Marketing」の配下の「Section # 1」、「Section # 2」が表示される。これら「Section # 1」と「Section # 2」の表示順が社内における序列に沿わない場合には、「Section # 1」と「Section # 2」の表示順を入れ替えることができる。すなわち、図3の下部に示されたウィンドウ枠の右側に表示されているMove Upボタン(上方移動ボタン)とMove Downボタン(下方移動ボタン)の何れかがユーザによりクリックされると、組織図変更部104は、クリックされたボタンに応じて「Section # 1」と「Section # 2」の表示順を入れ替える。ここで、Move UpボタンとMove Downボタンは、グループ(本例では、「Section # 1」、「Section # 2」)の表示を上下に移動させるためのボタンである。例えば、Section # 2の表示をSection # 1の表示の上部に移動する場合には、「Section # 2」の表示をクリックし、次いで、Move Upボタンをクリックする。すなわち、MOVE UPボタン又はMOVE DOWNボタンをクリックすることによって、「Section #」の表示順を社内の序列に適合した表示順に変更することができる。

40

【0039】

図4は、階層構造で表示される「Section # 1」に属するメンバー(A・B氏、B・C氏、C・D氏、D・E氏、E・F氏、F・G氏)の表示順を変更するためのウイ

50

ンドウ枠を示す図である。

【0040】

本画面上には、組織のメンバーの選択元となる階層構造（ツリー）が表示されるウィンドウ枠と、組織のリーダ及び組織のメンバーの一覧及びその表示位置を指定するウィンドウ枠の2つが表示される。表示位置の変更は、右側に配置された、組織のメンバーの一覧およびその表示位置を指定するウィンドウ枠上で行われる。また、Move Up及びMove Downボタンは、組織のメンバーの一覧およびその表示位置を指定するウィンドウ枠の右側に配置される。図4に示されたウィンドウ枠の左側には、「グループのメンバーを選択してください。グループ内でのメンバーの表示位置を変更する場合は、メンバーをクリックし、上へ・下へボタンをクリックしてください。」とのメッセージが表示される。

10

【0041】

例えば、C.D氏の役職がB.C氏の役職よりも上位である場合には、C.D氏をB.C氏よりも上の位置に表示させたい。このような場合に、左側ウィンドウ枠で表示順位を変更させたい組織を選択し、右側に配置される組織のメンバーの一覧及びその表示位置指定するウィンドウ枠に表示されるC.D氏の表示をクリックし、次いで、右側ウィンドウ枠の右側に配置されているMove Upボタンをクリックする。この操作を受けて、組織図変更部104は、階層構造（ツリー）が表示されるウィンドウ枠内のメンバーの表示順を、A.B氏、C.D氏、B.C氏、D.E氏、E.F氏、F.G氏)の順に変更する。B.C氏の表示をクリックし、次いで、Move Downボタンをクリックすることによっても同じ変更処理を実行できる。

20

【0042】

なお、上記組織図の変更は、権限をもつ管理者のみが実行できるようにすることが望ましい。

【0043】

以上説明したように、本実施例によれば、組織図変更部104は、階層構造で表示された組織図における部署やグループやメンバー等の表示順を社内の序列に沿ったものに変更する。また、当該変更は、ユーザが、画面に表示されているMOVE UPボタン又はMOVE DOWNボタンをマウス等のポインティング・デバイスでクリックすることにより行われる。

30

【0044】

尚、本発明は、コンピュータが、前述した実施形態の機能を実現するプログラムコードを記録した記憶媒体からプログラムコードを読み出して実行してもよい。この場合、記憶媒体から読み出されたプログラムコード自体が本発明の新規な機能を実現することになる。プログラムコードを記録するための記憶媒体としては、例えば、フレキシブルディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、CD-R、磁気テープ、不揮発性のメモ리카ード、ROMなどを用いることができる。

【図面の簡単な説明】

【0045】

【図1】本発明の一実施例である電子組織図処理システムのシステム構成を示すブロック図である。

40

【図2】階層構造からなる電子組織図の一例を示す図である。

【図3】組織図内の部署名のみを階層構造等で表示した図である。

【図4】階層構造で表示されるメンバーの表示順を変更するためのウィンドウ枠を示す図である。

【符号の説明】

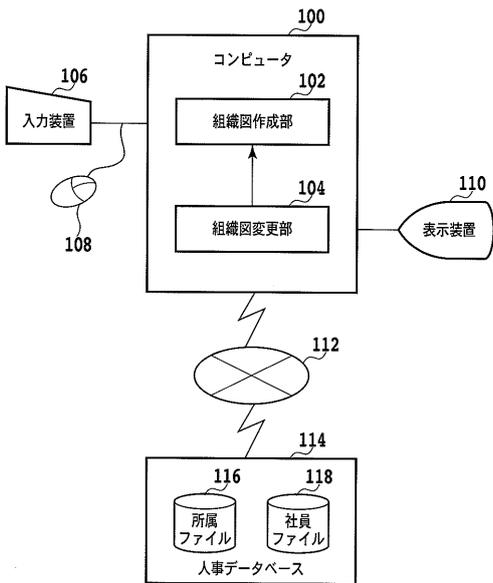
【0046】

100 コンピュータ  
102 組織図作成部  
104 組織図変更部

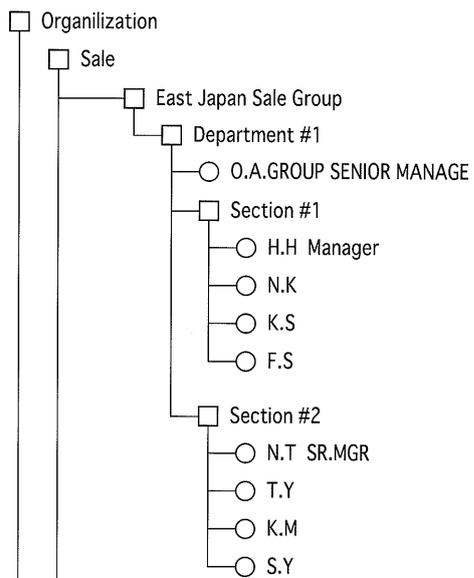
50

- 106 入力装置
- 108 ポインティング・デバイス
- 110 表示装置
- 112 ネットワーク
- 114 人事データベース
- 116 所属ファイル
- 118 社員ファイル

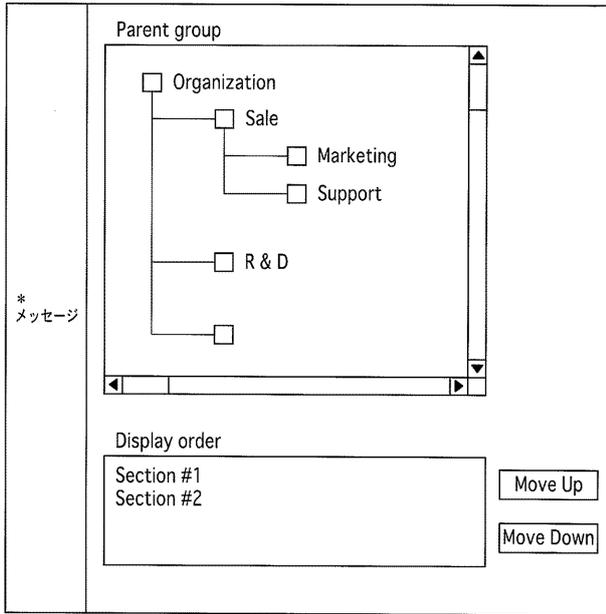
【 図 1 】



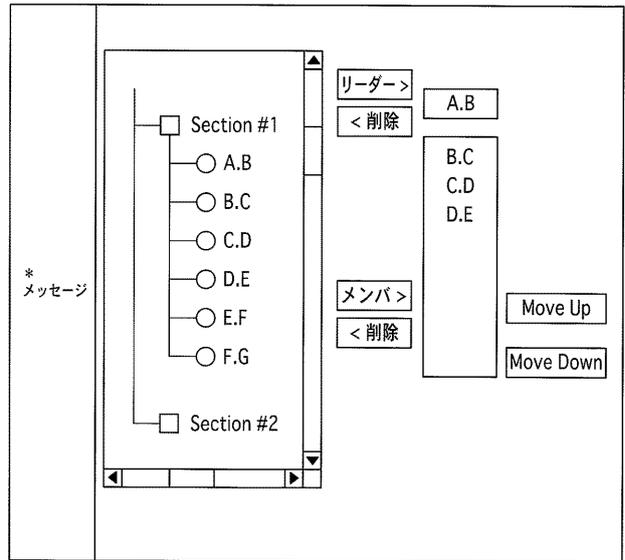
【 図 2 】



【 図 3 】



【 図 4 】



---

フロントページの続き

- (72)発明者 宮地 弘子  
東京都調布市調布ヶ丘1 - 1 8 - 1 マイクロソフト株式会社 マイクロソフト調布技術センター  
内
- (72)発明者 唐 俐  
東京都調布市調布ヶ丘1 - 1 8 - 1 マイクロソフト株式会社 マイクロソフト調布技術センター  
内
- (72)発明者 古間 忍  
東京都調布市調布ヶ丘1 - 1 8 - 1 マイクロソフト株式会社 マイクロソフト調布技術センター  
内